

【滋賀の教育大綱】

未来を拓く心豊かでたくましい
人づくり
～「三方よし」で幸せ育む
滋賀の教育～

学校教育目標

きたえ 助け合い 学び続ける
子ども

【第4期大津市教育振興基本計画】＜基本理念＞

一人ひとりが輝き、
ともに未来を創る大津の教育

〈児童の実態〉

- ・素朴で素直、子どもらしい。
- ・明確な指示、はっきりした目標があると努力できる。
- ・ほめられ感、やりとげ感を感じて育っている。
- ・自主性、主体性が弱い児童も見られる。

笑顔あふれる下阪本小学校

自分大好き 友だち大好き しもさか大好き

めざす子どもの姿

- 自信をもって生き生きと活動する子ども
- 自分も人も大切に し 助け合う子ども
- 自ら考えチャレンジし ねばり強く取り組む子ども
- 心も体もたくましい子ども

〈保護者・地域の実態〉

- ・宅地開発が進み、児童数の増加とともに保護者の価値観も多様化している。
- ・旧の地域は伝統と格式があり、連帯感が強い。
- ・「まちづくり協議会」の設立など地域の活性化に向けて懸命。

めざす学校

- 子どもが安心して学べる学校
- 子どもがやりがいをもって活動できる学校
- 保護者・地域に信頼される学校

めざす教師

- 温かさと厳しさを持つ教師
- 共に学び合い、学び続ける教師
- 組織の一員として共に役割を果たす教師
- 校区『下阪本』を愛する教師

『自分大好き 友だち大好き しもさか大好き』な子どもを育成するために

心をこめた あいさつ ・ 心を磨く そうじ ・ 心で感じて 聴く

確かな学力の育成

子どもが主体的に学び

「できた」「わかる」が

実感できる授業に！

- ・協働的な学びと個に応じた学習の双方を活かした指導(授業改善)
- ・『みつはまタイム』を活かし、全校で基礎基本の徹底
- ・専科、交流授業の活用

豊かな心を育てる

どの子にとっても

居心地のよい学校に！

- ・いじめを許さない、見逃さない学校・学級づくり
- ・人間関係を構築する力の育成
- ・自己肯定感を高め、自立につなげる
- ・道徳の授業の工夫と充実

主体性を育む

子どもが意欲を持ち

自信につながる活動を！

- ・互いに認め合う学級、学年の集団づくり
- ・委員会をはじめとする児童会活動の活性化
- ・異年齢活動、縦割り活動の推進
- ・休み時間や日常生活での運動習慣作り

特別支援教育の推進

どの子にとっても

やさしい環境に！

- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業
- ・個々のニーズを把握し、もてる力を伸ばす
- ・個別指導計画の活用
- ・特別支援理解教育の推進

保護者・地域とともに

～日吉はひとつ～

地域ぐるみで子どもの豊かな生活力と実践力を育成する

〈つながり合う実践〉

- ・日吉子どもサミット、地域と連携した活動
- ・保幼小中連携、日吉学区教育総合推進会議、特別支援コーディネーター等連携会議
- ・下阪本小学校運営協議会、日吉コミュニティスクール
- ・PTA 活動への協力

下阪本クリーン作戦、秋まつり、みつはま教室、みつはまファミリーウォーク、あいさつ運動など

日吉ブロックのお約束

- 「身だしなみ」を整える
- 「時間」を守る
- もくもく「そうじ」
- 元気に「あいさつ」
- 話は目と耳と心で「聴く」

学校経営の力点と今後のビジョンについて

【今年度の重点目標】

- 組織対応を徹底し、児童一人ひとりを大切にした教育活動の推進(チームしもさか)
- 教員の人権感覚の育成と、授業力・指導力の向上
- 教員の共通理解・共通の取組と個々のよさや工夫を生かした取組のバランスをとる
- 保護者・地域との連携を深め、家庭の力・地域の力を教育活動に取り入れる。

【力点とビジョン】

力点	ビジョン・手だて
授業改善 から 学力向上へ	<u>子どもが主体的に学び、「できた！」「わかる！」が実感できる授業から、</u> <u>「なぜ？」「やってみたい！」につながる授業に</u> ○協働的な学びと個に応じた学習を両輪にしたきめ細やかな指導を行う。 ・協働的な学び、対話的な学びから学びを深める授業づくりに努める。(授業改善) ・授業改善を意識し、子どもが「できた！」「わかる！」を実感し、「なぜ？」「やってみたい！」という知的好奇心の高まりにつながる授業を推進する。 ○学習の共通実践事項を徹底し、基礎学力の定着に努める。 ・『みつはまタイム』を活用し、全校的な取組として基礎基本の徹底を行う。 ○考えや思いを安心して伝え合い、高めあえる集団作りに努める。(学習環境づくり) ○専門性を生かした専科指導により、児童の意欲や主体性を高める。
生徒指導体制 の 充実	<u>どの子にも居心地のよい学校に</u> ○生徒指導事案に対し、組織として迅速で適切な対応ができるよう体制を整える。 ○いじめ、差別を許さない、見逃さない学校にするための取組を充実させる。 ・アンケート、教育相談週間等の実施により児童のサインや変化を見逃さない。 ・いじめ未然防止の取り組みにも力を入れる。(児童会、学年、学級の活動など) ○『自分大好き・友だち大好き・しもさか大好き』を合言葉に、豊かな心を育てる。 ・人間関係構築力を高める取組を推進する。(ホットタイム、異年齢活動の活用等) ・自己肯定感を高め、自立につなげることを意識する。(挨拶、声かけ、励まし…) ○道徳教育推進教員を中心に授業公開、環境整備などの指導体制の工夫を行う。
特別支援教育 の 推進	<u>どの子にとってもやさしい環境に(適切な指導・支援)</u> ○児童個々の実態を的確に把握し、持てる力が引き出せるよう努める。 ・教育相談担当、特別支援 Co を中心に校内体制の整備、関係機関との連携の充実 ○どの子も共に学べる環境づくりを進める。 ・ユニバーサルデザインを意識した授業や教室環境づくり、かつくん・コグトレの取組など ○支援を要する児童の実態を把握し、個別指導計画の作成と有効に活用を目指す。
特別活動 の 充実	<u>子どもが意欲を持ち、自信につながる活動</u> ○児童の自発的、自主的な活動の推進を図る。(学級活動、児童会活動の活性化) ・児童の発案、児童の運営を重視し、子どもの成長を大事にする。 ○「日吉子どもサミット」「大津市夢プロジェクト」や各委員会の活動等で自主性やリーダー性、自己実現の力を育てる。
地域を 意識した 教育	<u>地域ぐるみで子どもを育てる</u> ○地域と連携した活動を活用して子どもの力を伸ばす。(学習面、体験的な活動) ○『日吉学区学推』のよさを教員が実感し、その学びを自校の教育活動に生かす。